

事業計画書

事業名	認知症の啓発活動と患者・家族の支援体制づくり
団体名	松飛台自治会連合会

取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	<p>テーマ(課題) 認知症の啓発活動と患者・家族の支援体制づくり</p> <p>松飛台地区では、祭り・運動会・敬老の集いなど一過性のイベントを中心に町会活動が行なわれてきたため、高齢者福祉対策が何も出来ていません。超高齢化社会を迎え、認知症を含め高齢者福祉に対する住民の関心や知識が乏しいことに危機感を持っています。国や松戸市の素晴らしい制度や対策をしっかりと取り込み、機能させることが連合会・町会の役割であると思います。認知症患者・家族や高齢者が住み慣れた街で気持ちよく、安心して生活できる街づくりをしたい。</p>						
事業の目的	<p>認知症の啓発活動をしながら住民と関係機関の協力を得て、患者と家族を支援する組織・体制・ネットワークをつくり、それを機能させていく。</p>						
事業内容	<p>1 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施体制：松飛台自治会連合会では13町会の会長と15名の福祉部員からなる福祉部会が中心になり、松戸市高齢者支援課、五香松飛台高齢者支援連絡会、五香松飛台包括支援センター、社会福祉協議会、医師会、薬剤師会、民生委員、健康推進委員のご支援とご協力のもとに7回の講習会を行いながら、認知症に関する課題解決に継続的に努力する。 ・対象：松飛台自治会連合会1,346世帯の65歳以上754名(75歳以上346名)とその家族。 ・場所：松飛台市民センター ・その他：講習会の回数7回、1回80人程度、1回2時間(10時～12時)、講演、協力団体からの説明、予防体操、相談会、会議など組み合わせ、気軽に楽しく役に立つものにする。同時に支援組織・体制・ネットワークづくりを進めていく。 <p>2 スケジュール(平成27年4月～平成28年3月)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>テーマ他</th> <th>実施体制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>認知症を知ろう ～早期発見とその対応～</td> <td>五香松飛台高齢者支援連絡会 五香松飛台包括支援センター</td> </tr> </tbody> </table>		テーマ他	実施体制	4月	認知症を知ろう ～早期発見とその対応～	五香松飛台高齢者支援連絡会 五香松飛台包括支援センター
	テーマ他	実施体制					
4月	認知症を知ろう ～早期発見とその対応～	五香松飛台高齢者支援連絡会 五香松飛台包括支援センター					

	介護家族向け冊子配布 (須貝祐一先生著)	社会福祉士他による説明
5月	松戸市の取り組み 認知症サポーター養成講座	松戸市高齢者支援課
6月	認知症の診断と治療 ～タイプ・症状・最新治療～ アルツハイマー型、脳血管性、 レビー小体型、前頭側頭葉型、 正常圧水痘症、混合型など	千葉大学附属病院 認知症医 療センター医師
9月	認知症の看護と介護 実際の看護と正しい介護の方法	看護師、介護師
10月	介護保険などの諸制度・福祉サ ービスの利用と相談について (経済的な面も実例で説明)	社会福祉士、包括支援センタ ー他
11月	地域での医療・介護の取組み ～在宅医療を中心として～	認知症クリニック医師 看護師、介護師、社会福祉士
2月	総括討論会と会議 ～患者と家族を支援する体制づ くり～ 支援組織とネットワークづくり 定期会議のメンバーと内容 第1回ケア会議の準備	高齢者支援連絡会、包括支援 センター、医師会、薬剤師会、 看護師、介護師、社会福祉士、 連合会会長・福祉部長他
既存の事業からステ ップアップする部分 ※ステップアップ助成 のみ	(今までに実施してきた事業に比べて、どのような点をステップアップしたいのかを記載してください。)	
事業の目標	<p>(事業に取り組む上で、どれだけのことを達成したいのか、その目標を記載して下さい。)</p> <p>※事業の成果目標は、できるだけ数値などを用いて、具体的に記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症に対する住民の関心と知識を高める。 ・ 認知症患者と家族の支援組織・体制・ネットワークをつくる。 ・ 次年度の4月に関係者が集まり第1回認知症ケア会議が開催できるようにする。 ・ 高齢者支援連絡員：現在2名を13～15名に増やす。 ・ 認知症サポーター：現在数名を50名以上にする。 ・ 認知症に対する住民の理解を深め、「認知症は恥ずかしくない」「支援するのは当たり前」という風土をつくる。 	

	<p>・自分や家族が認知症になってもあわてず適切に対応できるようにする。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>(助成終了後の将来の展望を記載してください。)</p> <p>各団体・専門家のご支援のもと、関係者が集まり効果的なケア会議が联合会・町内会で継続的に行なわれるように、年1~2回の講習会をしながら見守り、フォローして行きたい。高齢者の認知症問題から入り、乳幼児・子供・高齢者・障害者などの生活弱者と家族が、安心して住める街づくりをしていきたい。</p>

事業の予算概要

(単位：円)

【収入】

科目		金額	積算内訳
団体	松飛台自治会連合会拠出金	¥ 112,200	
	寄付金	¥ 0	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 112,200	
	事業費収入額 (a②)	¥ 0	
	団体より拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 7,000	
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥ 119,200	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 219,200	

【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 60,000	外部講師謝礼
	広告チラシ	¥ 42,000	印刷代 5円×1,400枚×6回
	レジメ作成費	¥ 24,000	30円×80部×10講師
	会場使用料	¥ 19,600	700円×4時間×7回
	会場音響関係賃貸料	¥ 21,000	1回3,000円×7回
	プロジェクター賃貸料	¥ 40,600	1泊2日5,800円×7回
	通信費	¥ 5,000	切手他 (82円×60回)
	対象経費の合計 (D)	¥ 212,200	
その他経費	準備委員 お茶代	¥ 7,000	お茶100円×10人×7回
	その他経費の合計 (E) = (a③)	¥ 7,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 219,200	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。